

依リ獨立混成第七旅團ヨリ歩一中(遠藤
 中尉以下百十九名)獨立混成第四旅團砲
 兵隊ヨリ北川少尉以下七十三名轉入アリ
 歩五中機關銃一中歩兵砲一中ノ新タカ
 獨立歩兵第十五大隊ノ編制ヲ山西省
 壽陽縣壽陽ニ於テ完結シ第六十二
 師團ニ隸屬シ大隊ニ更ニ段ノ威カヲ加
 獨立歩兵第十五大隊將校職員九人如シ
 大隊長 陸軍大佐 山本信輝
 副官 陸軍中尉 多賀久生
 大隊附 陸軍大尉 毛利武則
 同 陸軍中尉 上野昂一
 同 陸軍中尉 武藤克己
 同 陸軍中尉 南進

同 陸軍軍醫中尉 小松三郎
 同 陸軍軍醫少尉 保條二良
 同 衛生部見習士官 青木精一
 同 數醫少尉 田中定廣
 第一中隊長 陸軍中尉 江戸公平
 第二中隊長 陸軍中尉 浅野浩一
 第三中隊長 陸軍中尉 坂之上篤則
 第四中隊長 陸軍中尉 松田實
 第五中隊長 陸軍中尉 遠藤與一
 機關銃隊長 陸軍中尉 房出
 步兵砲隊長 陸軍少尉 北川哲次
 第一中隊附 陸軍少尉 松島武夫
 同 見習士官 浅尾金藏
 同 同 金子信恒

同 同 坂井敏男

警 備

自昭和十八年六月二十八日至昭和十九年四月十七日迄晋中晋東南地區ノ警備ニ任ス

戰 蟠龍鎮掃蕩作

昭和十八年六月二十七日ヨリ六月三十日間大隊ハ師團命令ニ基キ第六十三師團小林集成大隊ニ部共力(遠藤中隊機關銃一ノ小隊(石井小隊)ヲ抽出本作戦ニ参加セシメタリ

十八夏大行作戦

昭和十八年七月一日ヨリ同年七月二十一日間大隊ハ依然遠藤中隊及機關銃一ノ小隊

ヲ小林集成大隊ニ抽出シ本作戦ニ参加セシメタリ

警 備 移 讓

昭和十八年七月上旬ニ亘リ管内ノ警備ヲ獨立歩兵第十四大隊及獨立歩兵第十三大隊ニ移讓ス

移 駐

大隊ハ師團命令ニ依リ昭和十八年七月十一日鐵道輸送ニ依リ出發同月十八日山西省武御縣段村ニ移駐ス

警 備 継 承

昭和十八年七月三十日零時第三十六師團ヨリ警備ヲ継承ス
大隊配備左ノ如シ

- 大隊本部 武郷新城(段村)
- 第一中隊 榆社
- 第二中隊 武郷新城(段村)
- 第三中隊 祁縣
- 第四中隊 塔龍鎮
- 第五中隊 南溝村
- 機關銃中隊 武郷新城(段村)
- 步兵砲中隊 同

大秋大岳作戰

自昭和十八年九月十日ヨリ至同年十一月二日、
 間歩三中ヲ基幹トスル山本討伐隊ヲ編
 成シ折柄、猛雨其他惡條件ヲ克服シ本
 作戰ニ參加シ多大ニ戰果ヲ收ム

補充員入隊

昭和十八年九月十日補充員百六十四名ヲ
 段村ニ迎ヘ大隊ノ戰力ニ大威力ヲ加フ
 翌十三日入隊式ヲ舉行ス

戰歿者慰靈祭

昭和十八年九月二十日故兵科見習士官佐
 藤富郎以下九柱ノ慰靈祭ヲ段村大隊本
 部營庭ニ於テ嚴肅盛大裡ニ執行ス

内地轉屬並滿
 期除隊召集解
 除

昭和十八年十月十日歴戰ノ勇士日比野軍
 曹以下百八名歩兵第百五十一聯隊ニ轉
 屬シ吉田伍長以下六名ハ召集解除滿期
 除隊ス

戰歿者慰靈祭

昭和十八年十月三十日故兵科見習士官喜

多清一以下六柱慰靈祭ヲ段村大隊本部營庭ニ於テ盛大裡ニ執行ス

補充員入隊

昭和十八年十二月四日補充員百六十四名段村兵舎ニ迎ヘ部隊ノ戦力ニ大威力ヲ加フ
翌五日入隊式ヲ舉行ス

戦歿者慰靈祭

昭和十八年十一月二十三日故陸軍兵長中井忠生以下七柱慰靈祭ヲ段村大隊本部營庭ニ於テ盛大裡ニ執行ス

初年兵入隊
入隊式

昭和十九年一月十五日現役初年兵二百十四名ヲ段村兵舎ニ迎ヘ大隊ノ戦力ニ大威力ヲ加フ

翌十六日入隊式ヲ舉行ス

補充員入隊

昭和十九年一月二十三日補充員三十二名ヲ段村ニテ迎フ
翌二十四日入隊式ヲ舉行ス

甲申旧正月肅正
討伐
翌昭和十九年正月三日

大隊當面ノ敵三八五旅八十四團主力ヲ以テ雲箬鎮石盤鎮一帯ニ九團主力ヲ以テ天庄溝附近一帯ニ十三團ニ上合村一帯ニ夫々踏踏シアリテ我々鐵道及通信網ヲ破壊並ニ整備隊ノ襲撃等後方攪乱ヲ止圖シテアリ
大隊ハ折柄旧正月ヲ期シ機先ヲ制シテ雲箬鎮次テ天庄溝ノ敵十四團及第九團ヲ擊滅スヘク一月二十四日夜半行動ヲ開始シ

隨所ニ該敵ヲ擊破シ多大戰果ヲ收メタ

本討伐間ニ於テ戰鬪ハ如シ

一月三十七日 下赤峪附近戰鬪

一月三十一日 大有鎮附近戰鬪

甲申第二次肅正
討伐
昭和十九年二月八日
翌月五日

昭和十九年二月八日夜ヨリ行動ヲ開始シ東
潞線南溝村東方地區ノ掃蕩ヲ實施シ
後方攪乱ヲ止圖スル敵ニ對シ徹底セル鐵
槌ヲ下シ多大戰果ヲ收メ

補充員入隊

昭和十九年二月十日補充員トシテ現地召
集兵七十七名ヲ段村兵舎ニ迎フ
翌十一日入隊式ヲ舉行ス

甲春蟠龍鎮附近
肅正討伐

大隊ハ昭和十九年二月十八日ヨリ同年二月二十
九日間蟠龍鎮ノ肅正討伐ヲ實施シ次テ
蟠龍鎮警備隊第四中隊(松田中隊)
ヲ掌握 該鎮ヲ轉進武都新城ニ位置セ
シム

轉出

昭和十九年二月二十三日獨立歩兵第二四四
大隊編成要員トシテ毛利大尉以下九十
五名ヲ轉出ス

轉入

昭和十九年二月二十五日當大隊要員トシ
テ第三十七師團ヨリ道股軍曹以下九名
轉入ス

補充員入隊

昭和十九年二月二十八日補充員トシテ現地
召集兵百七十四名ヲ段村兵舎ニ迎フ
翌二十九日入隊式ヲ舉行ス

警備本讓
轉進

大隊ハ昭和十九年三月十日(陸軍紀念
日)ノ正午ヲ以テ獨立歩兵第三四大隊ニ
管内警備ノ責任ヲ本讓シ同月十六日
東潞線南溝村ニ集結ス

京漢作戰
昭和十九年四月

大隊ハ昭和十九年四月二日東潞線南
溝村ヲ出發ス
潞安澤州清化鎮開封縣魯店道
ヲ悠々百里ニ滿ソ山徑ヲ旬日ヲ以テ踏破シ
軍ノ企圖スル京漢作戰ニ參加ス

昭和十九年四月中旬我カ精銳部隊ハ山
西省ヨリ河南ノ野ニ其ノ歩武ヲ進メ終始第
一線ヲ担当シ先ツ霸王城ニ堅陣ヲ拔ケタルヲ
初メトシ到ル處ニ於テ頑敵ヲ擊攘シ最
後ニ洛陽ヲ落シ將又反轉掃蕩戰ニ轉
移奮戦力闘絶大ナル戦果ヲ收ムルト共ニ
傳統ヲ誇ル我カ部隊ノ威力ヲ他外ニ宣
揚セリ

本作戦間ニ於ケル主ナル戦闘ハ如シ

四月三十日 潭春寺附近ノ戦闘

五月一日 戒庄附近ノ戦闘(該隊長戦死)

五月三日 禹縣附近ノ戦闘

五月六日 黄道鎮附近ノ戦闘

五月十三日 嚴凹張庄 魯新庄附近

對空戰鬥

河南省中部地區

警備

自昭和十九年六月一日至同年八月八日

大隊反轉掃蕩戰績引續豫中地區ニ入リ
 昭和十九年六月十三日獨立混成第七旅團ヨ
 リ警備ヲ繼承附近警備ヲ担当ス
 大隊兵力配備凡ノ如シ
 大隊本部 新鄭
 第一中隊 新鄭
 第二中隊 和尚橋
 第三中隊 許昌(一部五女店)
 第四中隊 新鄭
 第五中隊 密縣
 機關銃中隊 新鄭
 步兵砲中隊 新鄭

戰歿者慰靈祭

昭和十九年七月五日京漢作戰ニ於テ戰歿
 セル故陸軍中尉淺野浩一以下四十五柱
 慰靈祭ヲ新鄭大隊本部營庭ニ於テ嚴肅
 且ツ盛大裡ニ執リ行フ

轉屬

昭和十九年七月十日戰車第三師團編成要
 員トシテ山口兵長以下七十一名轉屬ス

警備委讓
轉進

昭和十九年七月十日豫中地區警備ヲ戰
 車第三師團ニ委讓シ同月十二日兵力ヲ新
 鄭附近ニ集結七月十三日新鄭ヲ出發十八里
 河ノ老鴉陳ノ黄河ノ干村ヲ經テ七月二十日
 西安也ニ轉進ス